

柴北川プロジェクト通信 31号

— 平成25年度 収穫祭（合同稲刈り会） —

平成25年10月20日（日）

今年も収穫の秋を迎え、10月20日、「柴北川を愛する会」と「共助研」の収穫祭（合同稲刈り会）が開催されました。合同稲刈り会、餅つき大会、昼食会、ゲームの様様を報告します。

1. 合同稲刈り会

今年で4回目、「西の台小学校おやじの会」が参加されて2回目の収穫祭（合同稲刈り会）となりました。前日は雨、当日もぐずついた天気でしたが、幸いにも稲刈り時は雨がやみ、午前10時、「柴北川を愛する会」、「西の台小学校おやじの会」、「黒松 family 青年会」、「共助研」による合同の稲刈り会が開催されました。

例年のように安藤班長の安全な稲刈り方法や刈り取った稲の結び方の説明のあと、ぬかるんだ「たんぼ」に入り収穫を行いました。子供たちも慣れた手つきで手際が良く、足下の悪い中順調に刈り取りが進み、午前11時半にはうるち米の刈り取りと「掛け竿干し」が完了しました。今年もちつき大会実施のため、収穫はここまで。もち米の収穫は「柴北川を愛する会」のみなさんにより後日実施されることになりました。

帰りは地元の方のご厚意により、富有柿をいっぱい頂き、いっそう収穫の秋を実感することになりました。



安藤班長説明



稲刈り風景



きれいに刈り取りました

2.もちつき大会、昼食会、ゲーム

稲刈りを終わると各自、旧小学校体育館に移動、今年は「柴北川を愛する会」、「黒松 family 青年会」、「柴北レディース」のみなさんの準備によりもちつき大会が開催されました。慣れた手（腰）つき？とはいきませんでした、交代で「きね」を取りちゃんと餅になっていました。



もちつき大会の後は恒例の「柴北川レディース」のみなさんによるお手製のランチです。いつものように郷土料理溢れる「漬物バイキング+新米ごはん+イノシシ汁」でした。今回はレディースのみなさんのコスチュームが新しく統一され、あたたかい「おもてなし」を感じる昼食会となりました。さらに、もちつき大会でつき上がった出来たての餅の配給があり、満足いっぱい昼食会となりました。



ぴしっと決まった新コスチューム



わきあいあいの昼食会

昼食会のあとは、渡邊さんによるゲームです。各自が30cm程の棒を5本ずつ貰い、隣の人とじゃんけんをして、制限時間内で棒を取り合うゲームです。棒が無くなった人は退場です（きびしい）。一喜一憂、ドキドキのゲームでした。終了後は棒を多く取った順に整列し、賞品が授与されました。



さいごに、平成21年度共助研シンポジウムで講演して頂きました吉武教授（現九州工業大学）が「風景デザイン便り：風景デザイン研究会」で民俗学者の宮本常一氏のことばを引用していましたのでご紹介します。

「それぞれの地域に住む者がその土地を真に愛し、その土地で生きのびてゆこうとするとき、その環境もまた美しくゆたかになっていくものではあるまいか。そういう人たちは遠い将来に対して夢を持っている。50年さき、100年さきの自分たちの子や孫の住む環境を考えている。」宮本常一「自然と日本人」風景はかわるより

「その土地で生きのびてゆこうとする」ためには、様々な課題への対応が必要です。子や孫に残せるゆたかな環境を作るために一歩ずつ進んでいきたいものです。

（文責：濱田、写真：波木）